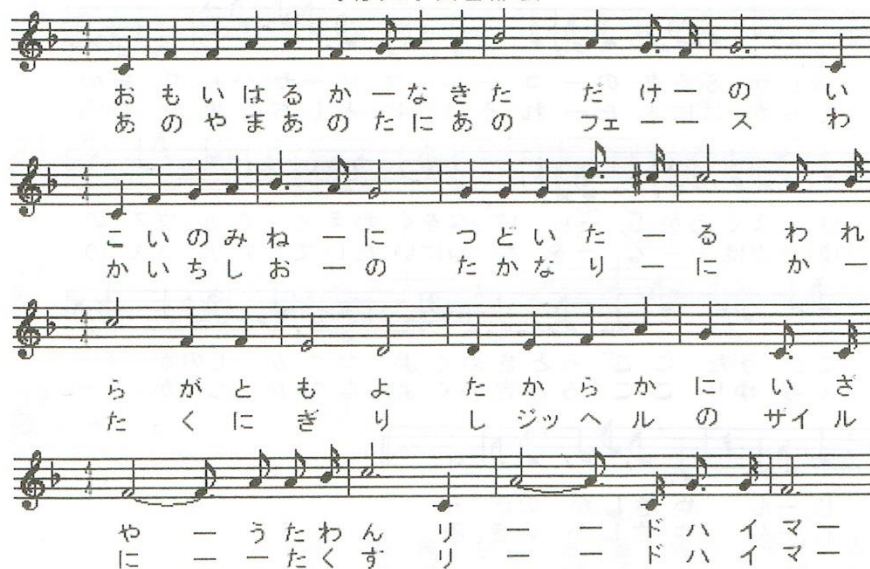


♩ = 120

北岳の歌

—専修大学山岳部歌—

作詞 金山敏雄
作曲 金山敏雄



おもいはるか—なきた だけ—の いわ
あ のやまあ のたにあの フェ—ース わ
こいのみね—に つどいた—る われ
かいちしお—の たかなり—に か—
らがともより たからかに いざ
たくに ぎり し ジッヘル の ザイル
や—うたわん リ—ド ハイマー—to
に—たくす リ—ド ハイマー—to

リードハイマート:ドイツ語で故郷の歌。語尾のトは発音しないようです。
ジッヘル:岩場のトップに登る人に安全確保のために結ばれたザイルをセカンドが強く握り締めること。

- (一) 思い遠かな 北岳の
憩いの峰に 集いたる
我が友よ 高らかに
いざや歌わん
リードハイマート
- (二) あの山あの谷 あのフェース
若い血潮の高鳴りに
固く握りし ジッヘルの
ザイルに託す
リードハイマート
- (三) 吹雪に暮れたる 日も過ぎて
仰ぐ青さよ 我が心
今ぞ目指すは バットレス
鳴れよハーケン
リードハイマート

この歌は 1946 年、明峰山岳会の金山敏雄氏が作詞作曲したもので、彼の母校の専修大学山岳部歌にもなっています。